

県南地方の農林業

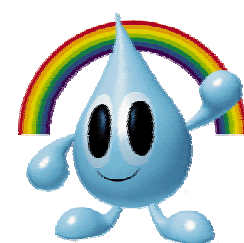


つくろう 住み良い農山村 活かそう農林業の力



福島県県南農林事務所

平成17年4月



県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口に当たる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町7村からなり、その面積は1,233.24km²で、県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。



(2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は356.63mに位置しています。



(3) 人口

管内の人口は、平成17年4月1日現在、154,160人(48,897世帯)で、県人口の7.4%(世帯数で6.9%)を占めています。

このうち白河市が31.2%、西白河郡が44.3%、東白川郡が24.5%をそれぞれ占めています。

年齢別人口割合は年少人口(0~14歳)が23,933人で15.5%、生産年齢人口(15~64歳)が96,630人で62.7%、老年人口(65歳以上)が33,597人で21.8%です。

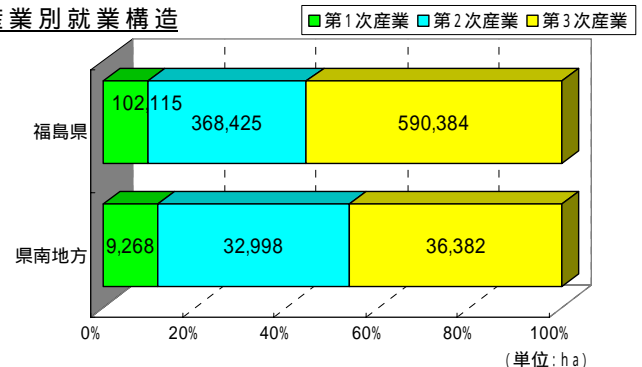
農業・農村・森林林業

(1) 就業者構造

管内の就業者総数(15歳以上)は78,648人で、産業別の内訳は、第1次産業が11.8%、第2次産業が42.0%、第3次産業が46.3%をそれぞれ占めています。

管内の第1次産業就業者の内訳を見ると、農業就業者が95.8%、林業就業者が4.0%水産業就業者が0.2%をそれぞれ占めています。

産業別就業構造



(2) 農家数・林家数

管内の総世帯数は46,486世帯で、このうち農家は23.0%を占めています。

農家の内訳を見ると、販売農家が87.4%、自給的農家が12.6%をそれぞれ占めています。

一方、管内の林家は総世帯数の10.3%を占めています。

林家数の内訳を見ると、農家林家が83.6%、非農家林家が16.4%をそれぞれ占めています。

(3) 耕地面積・森林面積

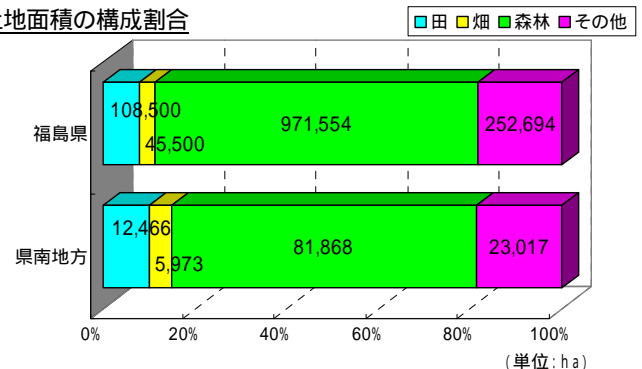
管内の土地面積は123,324haで、耕地面積は15.3%を占めています。

耕地面積のうち、田は67.2%、畑は32.8%をそれぞれ占めています。

また、民有林・国有林を合わせた森林面積は、土地面積の66.4%を占めています。

西白河地方では耕地面積の割合が約20%を占め、東白川地方では森林面積が約80%を占めており、土地面積の特徴を活かした産業が営まれています。

土地面積の構成割合



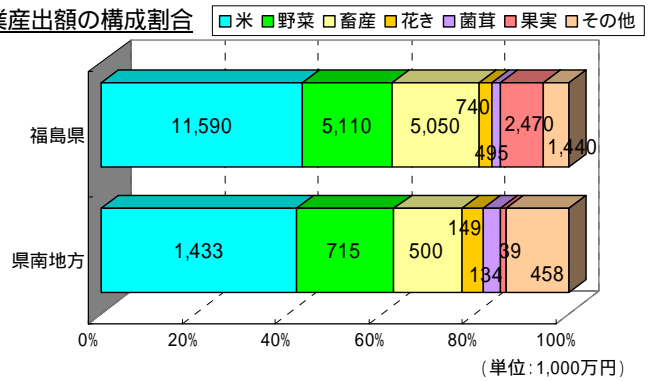
(4) 農業産出額

管内の平成15年の農業産出額は342億7,700万円で、県全体の12.7%を占めています。

管内の農業産出額の内訳は最も多いのが米で143億3千万円で41.8%、次いで野菜の71億5千万円で20.9%、畜産の50億9千万円で14.6%、花きの14億9千万円で4.3%、菌茸類の13億3,700万円で3.9%の順となっています。

農業産出額は、県全体の農業産出額が減少傾向にある中で、平成12年以降若干ではあるが増加推移を示しています。しかし、農産物価格の伸び悩み、担い手の減少、外国産農産物の輸入増加などにより、ピーク時であった昭和60年の429億3,800万円（菌茸類を除く）から約100億円（23.3%）減少しています。

農業産出額の構成割合

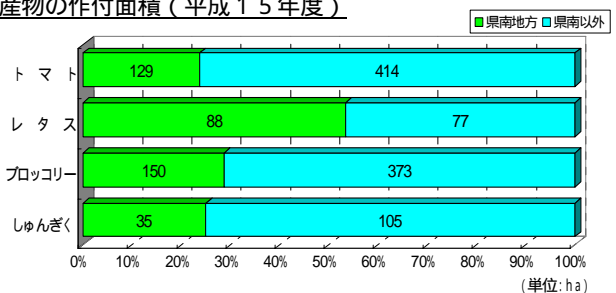


(5) 農産物の生産状況

管内における主要農作物の生産は米をはじめ、トマト、レタス、ブロッコリー、しゅんぎくなどである。

平成15年の作付面積を県全体に占める割合で見ると米が13%、トマトが24%、レタスが53%、ブロッコリーが29%、しゅんぎくが25%となっています。

農産物の作付面積（平成15年度）



管内の平成14年の素材生産量は116千m³であり、平成10年の57%となっています。

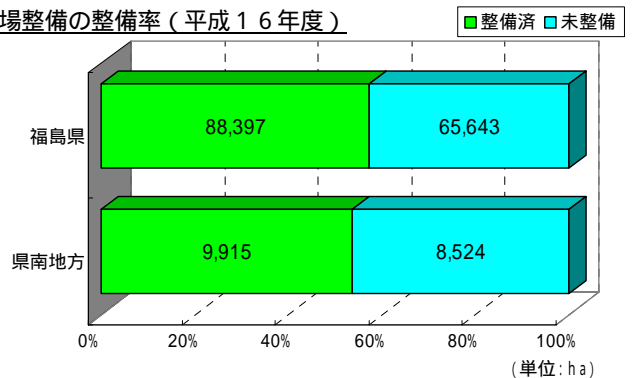
また、平成15年度の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が249t、生しいたけが1,239tとなっており、木炭は鮫川村が、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。

(6) ほ場整備の状況

平成16年度末における管内の耕地面積18,439haのうち、ほ場整備面積は53.8%の整備率となっています。

田のほ場整備面積は耕地面積の64.5%の整備率となっています。

ほ場整備の整備率（平成16年度）

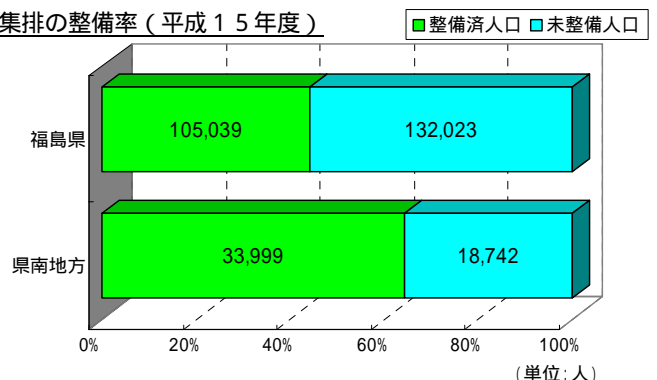


(7) 農業集落排水処理施設の整備状況

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組み、現在では管内全市町村の47地区で事業を実施し、既に40の地区で供用を開始しています。

平成15年度末における供用可能人口は33,999人、整備率64.5%となっており、県平均の44.3%を上回り、農村における環境の整備が一段と進んでいます。

農集排の整備率（平成15年度）

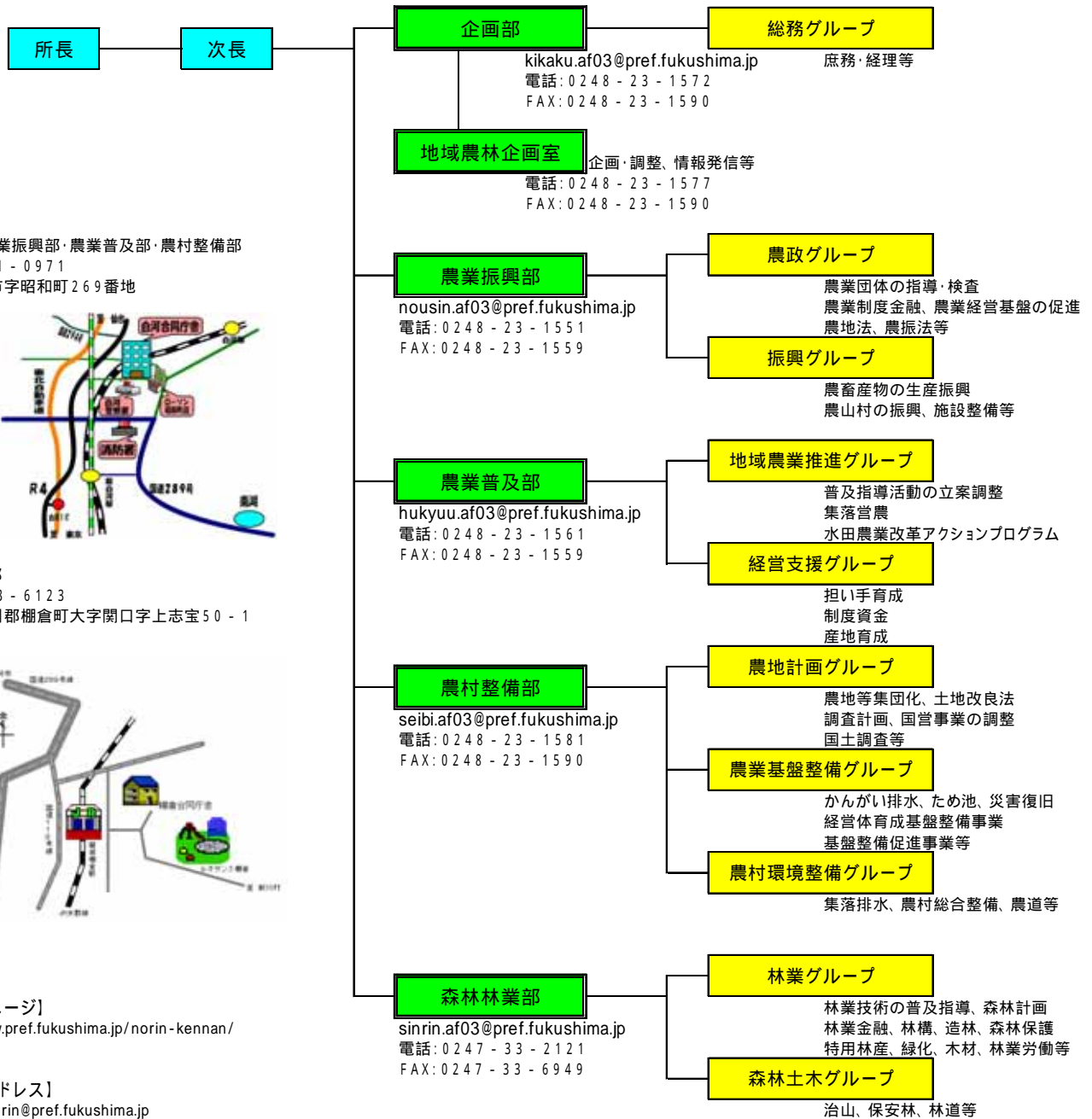


(8) 林道の整備・保安林の指定状況

管内における平成15年度末の林道延長は373,983mで、林道密度は7.55m/haとなっており、県平均の林道密度7.04m/haを上回っています。中でも、東白川郡については10.49m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

また、平成15年度末の保安林指定面積は3,858haで、昭和55年度末の保安林指定面積の169%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

県南農林事務所組織体制図



【表紙写真】

そば打ち体験 矢祭町(東山農園)	農産物直売所 矢祭町(太郎の四季)	植樹祭 白河市(南湖)
水稲直播(条播) 大信村(下小屋地区)	田んぼの学校 東村(釜子小学校)	
トマト水耕栽培 表郷村(河東田)	出前講座(地産地消) 白河市(中央中学校)	料理コンテスト 棚倉町(倉美館)
復旧治山事業 大信村(夏井地区)	経営育成基盤整備事業 西郷村(熊倉地区)	



水の妖精「みなもん」

源流の里である県南地方のキャラクターです